

FOR USE IN JAPAN



共通取扱説明書

TENT SAUNA SET USASAUNA NOW

テントサウナセット ウササウナナウ / SS4-066-BK

TENT SAUNA

テントサウナ / T4-060-BK

SAUNA STOVE

サウナストーブ / MS4-062-SL

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本セットに含まれるテントサウナは屋外専用です。

本テントサウナ内での火気使用は、セットに含まれる専用サウナストーブに限り可能です。

テントサウナは宿泊用としてもご使用いただけますが、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、火災に繋がる恐れがあるため、必ず就寝前にストーブの火が完全に鎮火していることを確認してください。

安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。

また、取扱説明書は大切に保管してください。

目次

はじめに／目次	P01
警告事項／注意事項	P02 - P08
セット内容（テント）	P09
セット内容（ストーブ）	P10
製品仕様／各部の名称（テント）	P11
製品仕様／各部の名称（ストーブ）	P12
テントサウナの設営方法	P13 - P20
テントをたたむ方法	P20
ストーブの設営方法	P21 - P24
撤収方法（ストーブ）	P25 - P26
ストーブ使用前チェックリスト	P27
火入れの手順	P28 - P29
収納・保管方法	P30
快適にご使用いただくためのQ&A	P31 - P33



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される
内容を示しています。



注意

物的損害の発生または傷害を負う可能性がある
内容を示しています。

 警告	○本テントサウナ内での火気使用は当社指定の専用サウナストーブに限り可能です。それ以外の薪ストーブや灯油ストーブ、焚き火台や調理用バーナーなどの火気使用は火災や火傷、一酸化炭素中毒の危険性が高いため一切厳禁です。 ○テントやストーブに破損や異常が見られた際は直ちにご使用を中止してください。それらが起因して火災や火傷、一酸化炭素等の事故の発生に繋がる恐れがあります。 ○テント内にお子様を残さないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などのおそれがあります。
 注意	○キャンプ場等でサウナを行う場合は、予めその土地の管理者や所有者にテント型サウナと薪ストーブ利用の同意を得てから、サウナを実施してください。法令や地域の条例等によって、禁止や制限されている場合があります。 ○本製品は常設用ではないため、常設しないでください。紫外線などの影響により短期間のうちに劣化し破損します。

【テント設営時】

 警告	○風速5m以上の場合は設営しないでください。テントが飛ばされたり倒壊し、火災や怪我に繋がる可能性があり大変危険です。また風の影響で煙突からの排気が阻害されるだけでなく、逆流することで「一酸化炭素中毒」になるおそれがあり、大変危険です。 ○台風や暴風雨などの悪天候時や、それらが予想される場合は速やかにキャンプを中止してください。 ○風の影響を受けやすい場所や、落石や雪崩、増水のおそれがある場所に設営しないでください。また突然の天候悪化に備えて、速やかに身の安全が確保できる場所にテントを設営してください。 ○テント、ストーブは地面をならし平らな場所で設置してください。安定を欠くと製品の転倒や倒壊を招き火災や火傷の危険性が伴います。そのため、不安定な場所では使用しないでください。
---	---

 警告	○枯れ草や落ち葉など、引火しやすいものが多い場所、他のテントやタープの近くではサウナを行わないでください。また専用の延焼防止耐火シートをストーブの下に敷いてください。火災に繋がる恐れがあります。 ○必ず全てのペググループ、ロープを地面にしっかりとペグで固定し、定期的にゆるみがないことを確認してください。固定されていない場合やロープの張りが不十分な場合はテントが倒壊する恐れがあり、火災や火傷等の事故に繋がります。
 注意	○石や枝など製品を破損させるおそれのあるものを取り除いてから設営してください。

【ストーブ使用時】

 警告	○煙突の出口から周囲の燃える物がある場所まで、少なくとも3m離してご使用ください。 ○着火時点からストーブのドアを閉めて燃焼が安定するまでは、テントのドアを両方とも開けておいてください。着火時は一酸化炭素が発生しやすく、テント内に滞留すると一酸化炭素濃度が上昇し危険です。必ずCOチェッカーで一酸化炭素濃度が0になったことを確認してからテントのドアを閉めてください。 ○よく乾燥した広葉樹の薪や当社指定の燃料以外は燃やさないでください。不完全燃焼が発生し、煙が逆流する可能性があります。紙類や枯れ葉などは火の粉が多く出る可能性があります、火災の原因となるため危険です。 ○薪の追加投入は速やかに行い、投入後は直ちにドアを閉めてください。長時間ストーブのドアを開けておくと、テント内に一酸化炭素を含む煙や、火の粉が漏出する恐れがあり大変危険です。ストーブの扉を絶対に開けたままにしないでください。 ○ガラス窓の高さまで大きく炎が燃えているときには薪の追加投入をしないでください。ドアを開けたときに炎が出てくる恐れがあります。 ○定期的に煙突や吸気ダクトがきちんと接続されているかを確認してください。隙間ができていますと、煙がテント内に漏れて危険です。 ○吸気ダクトへの通気が妨げられるような場所にテントを設営しないようにしてください。
--	---

 警告	○変形などにより吸気ダクトからの通気が十分行えない場合は、必ず吸気ダクトを交換してください。 ○テントの中で、火のついた薪や燃料をストーブから取り出さないでください。火災や火傷の原因になり危険です。 ○必ず煙突がストーブ本体にしっかりと固定され、テントの外へ煙が排出される状態でご使用ください。また一酸化炭素を含む煙がテント内に漏れないよう、ご使用前・一定の期間おきに必ず煙突の接続をご確認ください。 ○煙突が詰まるとテント内へ排気ガスが逆流したり、煙突から火の粉が飛び散り、火災やテントの損傷を引き起こす可能性があります。使用前、使用後には必ず煙突内部の確認と掃除を行なってください。 ○ストーブに薪を入れすぎないようにしてください。煙突表面が赤くなったり、煙突から火花が噴出する場合は、過剰燃焼による火災のおそれがあるため、薪の投入量を調整してください。 ○ストーブは煙突口の真下に配置し、テント生地（他の可燃物も含む）との間に十分な間隔を確保してください。煙突口の真下にストーブを配置した場合、ストーブからテント生地までの距離が50cm程度となります。 ○ストーブを分解・改造しないでください。 ○3時間以上燃焼させ続けしないでください。ストーブ内で灰がつまり、一酸化炭素の逆流や火災の原因になり危険です。再度使用する前にストーブ内の灰を捨てて、煙突内部の煤を取り除いてください。
 注意	○初めてストーブを使用される際は、テントの外でストーブの塗装剤を焼き切るまで30分～1時間程度燃焼させてください。ストーブの塗装剤を焼き切るまで煙と匂いが多く発生します。 ○薪投入時などは必ず燃えにくく断熱性のある手袋を着用してください。 ○ストーブの燃焼中だけでなく燃焼を終えてからもしばらくの間は、ストーブ本体や煙突が高温です。素手で触らないでください。 ○本製品には鋭利な部分があります。必ず手袋を着用してお取り扱いください。 ○ストーブの上でお湯を沸かしたり、料理しないでください。 ○灰が耐火シートや地面に落ちた際は速やかに回収してください。耐火シートの破損や地面へのダメージにつながります。

【サウナ入浴時】



警告

- 降雪の際はサウナを実施しないでください。雪によりテントの吸気口が塞がると不完全燃焼に繋がり、一酸化炭素中毒の恐れがあります。また屋根に積雪するとその重みによってテントの倒壊に繋がる危険性があります。
- サウナ使用時の定員は4名です。ストーブや煙突、サウナストーンへの接触により火傷を負う可能性があるため、定員を超える人数での使用はしないでください。
- サウナ使用時、1人での使用は思わぬ事故が発生した際に対処ができなくなる恐れがあります。リスクを軽減するため必ず2名以上でサウナを実施してください。
- 夜間に照明が用意できず、各種機材やその設置状況を自らの目で確認するのに十分な明るさが確保できない場合は、思わぬ事故に繋がる恐れがあるためサウナを行わないでください。
- テントへの出入りの妨げになる場所に椅子やベンチなどを置かないようにしてください。転倒による火傷や、体調が悪くなるなどの緊急時における避難が困難になる可能性があります。
- ストーブの熱を利用して、テント内で衣類などを乾燥させる行為は火災の原因となるため行わないでください。
- サウナ中はCOチェッカーを除き、ガス缶などの可燃物や乾電池、バッテリーなどを使用する器具などをテント内に持ち込まないでください。熱による破損や爆発、火災の危険性があります。
- 空気循環のため、ベンチレーターは絶対に閉じないでください。テント内の空気が不足して酸欠状態になったり、煙がテント内へ逆流したりする恐れがあり危険です。
- 万が一に備えて、使用中はテントのそばを離れず、水を張ったバケツなどの消火準備をしてからご使用ください。備えがない場合、初期対応ができず火災が発生し、また被害が拡大する恐れがあります。
- 体調が優れない方、アルコールを摂取している方、妊娠中の方はサウナを行わないでください。
- ご使用中に気分が悪くなったり体調に違和感を感じられた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 定期的に換気を行ってください。最悪の場合、酸欠により死に至る危険があります。



警告

- 心臓疾患、高血圧、糖尿病などの持病をお持ちの方、怪我をされている方、年を召した方、その他サウナ利用を医師から禁止されている方は体調不良や事故などの危険性があるため、サウナを行わないでください。
- 十分な休憩を取りながら、サウナを行ってください。15分以上連続してテントサウナ内に入っていた場合、脱水や熱中症、心臓への過度な負担につながる恐れがあります。
- お子様のサウナ利用は行わないでください。
- 定期的にCOチェッカーで一酸化炭素濃度を計測してください。また一酸化炭素が検出された際はすみやかにテントのドアを開けて換気を行ってください。
- ※COチェッカーの数値が0であっても、その数値を過信せず、煙の匂いや目の痛みなどの異常を感知した際には、換気を行ってください。
- ※COチェッカーの取扱説明書をよく読み、正常に検知できているかテストを行ってから、テントサウナ内で使用してください。着火時の煙やタバコの煙にCOチェッカーを当ててみて、CO値が上がるかを確認してください。
- 定期的に水分をとって、脱水症状に気をつけてください。
- サウナストーンは必ず専用の天然サウナストーン（香花石など）をご準備ください。河原の石やセラミック製サウナストーンを使用すると、石が熱ではぜる可能性があります。



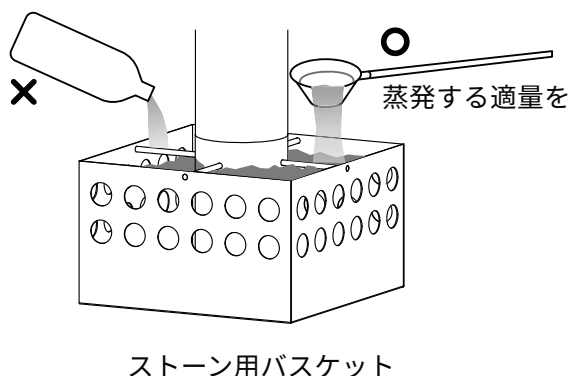
注意

- ・入浴前に身につけている金属製品を取り外してください。室内温度の上昇によって想像以上に熱を帯びるため、火傷の原因となり危険です。また椅子やベンチの金具も熱くなるためご注意ください。
- ・サウナ使用時にテントドアを開閉する際はファスナーのプラー（持ち手）を腰より低い位置に配置してください。プラーが上部にあるとサウナの熱で熱され火傷の危険性があります。
- ・高温高湿の環境下では木製部品・樹脂製部品が変形したり劣化したりする可能性があります。適応しない製品をご使用にならないようご注意ください。
- ・サウナストーンはストーブの燃焼を停止してからしばらくの間は高温ですので、素手で触らないでください。サウナストーン（別売）の取扱説明書に従い、適切にご使用ください。

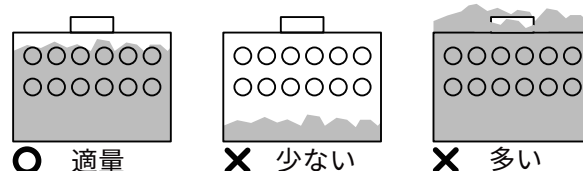
【サウナ入浴時（ロウリュ時）】



- アロマオイルを使用する際はサウナ専用のものを使用し、油分を含んだ芳香液でロウリュを行う場合には、油分への引火の危険性を回避するため、テントの外でロウリュ用の水溶液で十分に希釈してください。
- ロウリュをする際は、必ずストーン用バスケットにストーンを入れた状態で行ってください。ストーンの量はストーン用バスケットの高さの70%～100%の範囲にしてください。ストーンが少なすぎる、または多すぎるとストーブの破損や劣化につながります。
- ロウリュをする際は、長さが十分ある柄杓を使用し、できるだけ石の上で蒸発するように少しずつ水をかけてください。
- ※ペットボトルなどで水をかけるとストーン上に発生する蒸気で火傷の恐れがあります。
- ※一度に大量の水をかけると、石の上で蒸発せずにストーブの温度を急激に下げることにつながり、ストーブの劣化を早めたり、ドラフト低下による一酸化炭素の逆流の恐れがあります。
- ※1回のロウリュは柄杓で1～2杯までとし、1回ロウリュした後は10分以上時間を空けてロウリュしてください。



【サウナストーンの適量】



【テント宿泊時】



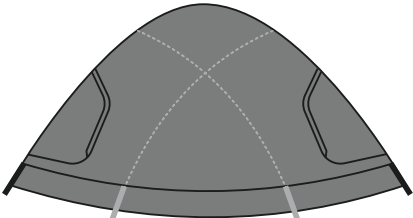
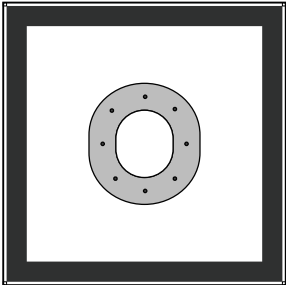
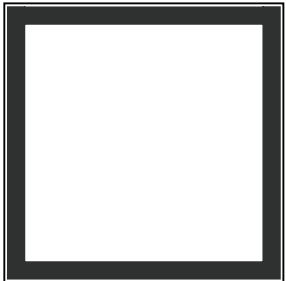
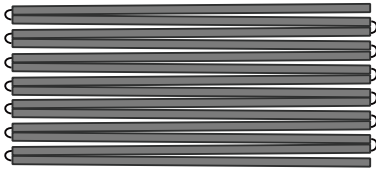
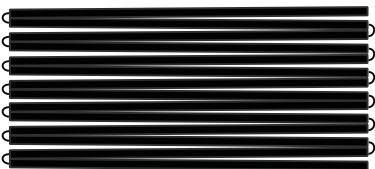
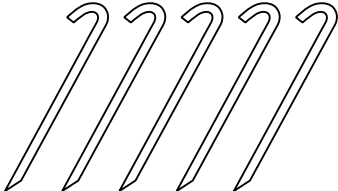
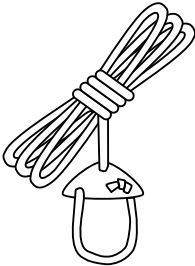
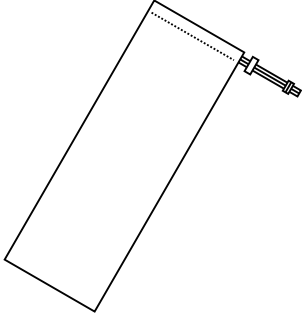
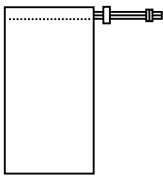
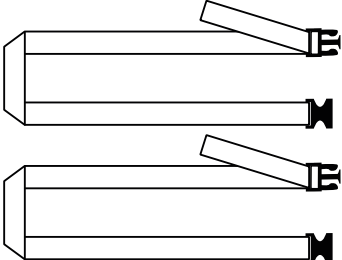
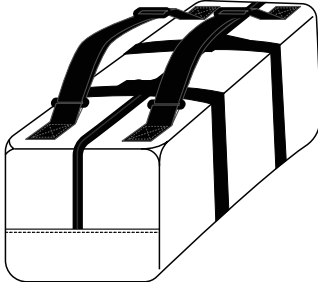
- ・宿泊用テントとして使用する場合、就寝前には必ずストーブの火が完全に鎮火していることを確認してください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災に繋がる恐れがあります。

【撤収時】

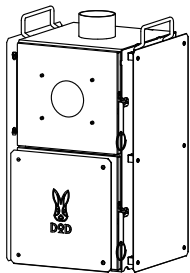
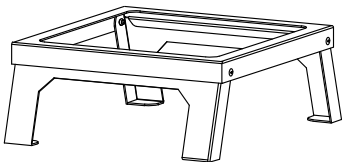
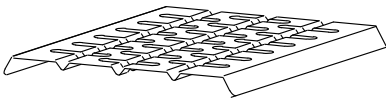
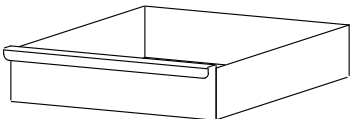
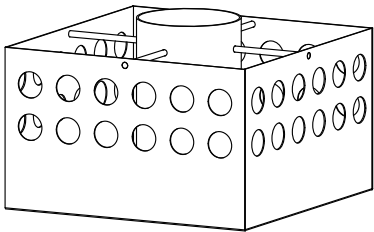
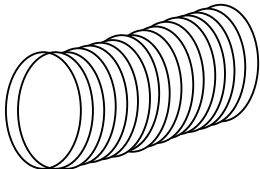
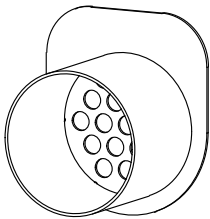
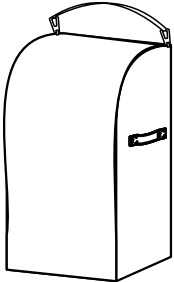
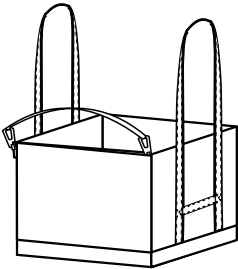
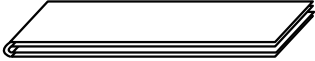
 警告	・ ストープ内の灰の処理や清掃を行う際には、必ずテントのドアを両側開けてから行ってください。燃焼による一酸化炭素がテントに流出するおそれがあります。 ・ ストープから取り除いた炭や灰が再び燃え出さないよう、適切に処分してください。火の不始末によって大きな火災を引き起こす可能性があります。
 注意	・ ストープが十分に冷えてから、撤収作業を行ってください。火傷のおそれがあります。 ・ ストープ使用後は灰を捨てて汚れを落とし、乾燥させてから保管してください。 ・ サウナストーブや煙突に水をかけて冷やさないでください。本体の変形やサビの原因になります。 ・ 安全のため、設営・撤収の際は手袋を着用してください。 ・ 設営や撤収時に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。 ・ 小さいお子様に設営・撤収をさせないでください。怪我や破損のおそれがあります。

セット内容（テント）

数量の確認を必ず行ってください。

① テント生地	② 煙突用生地	③ 煙突口カバー
		
④ ポール(グレー) × 2本	⑤ ポール(黒) × 1本	⑥ ペグ × 10本
 (クリップパーツ付き)	 (リング付き)	
⑦ ロープ × 4本	⑧ ポール用収納袋	⑨ ペグ・ロープ用収納袋
		
⑩ タイベルト × 2本	⑪ キャリーバッグ	
		

セット内容（ストーブ）

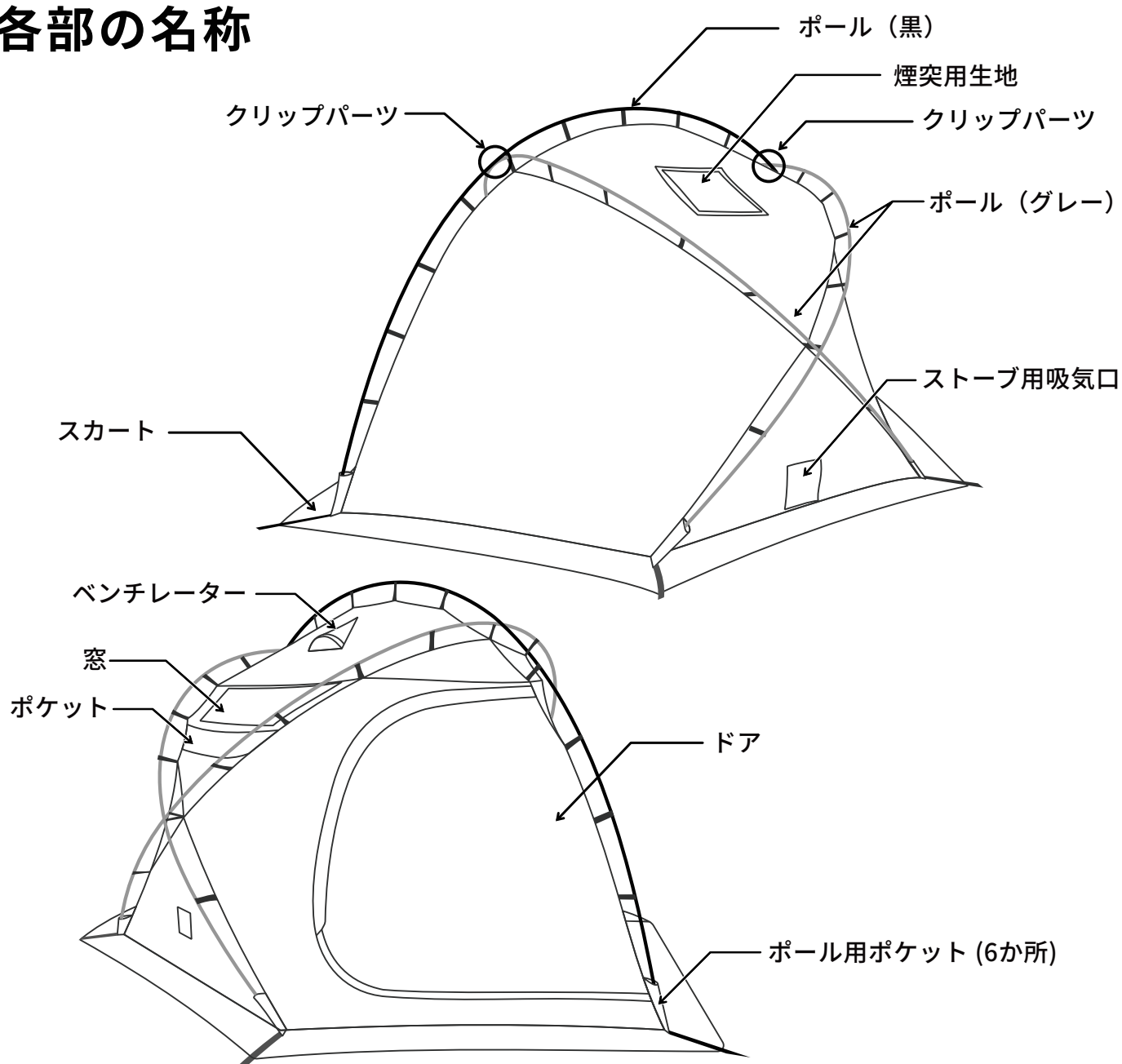
①ストーブ本体	②折りたたみ脚部	③ロストル
		
④灰受け	⑤ストーン用バスケット	⑥吸気ダクト
		
⑦ダクト用アダプタ	⑧煙突（中継ぎ）× 5本	⑨煙突（根本）× 1本
		
⑩ストーブ用キャリーバッグ	⑪バスケット用キャリーバッグ	⑫耐火シート
		

製品仕様（テント）

材質 テント生地：ポリエステル、アルミ合金
煙突用生地：ポリエステル、グラスファイバー、シリコン
煙突口金具：ステンレス鋼 窓：TPU
ポール：アルミ合金 ペグ：スチール

原産国 ベトナム

各部の名称

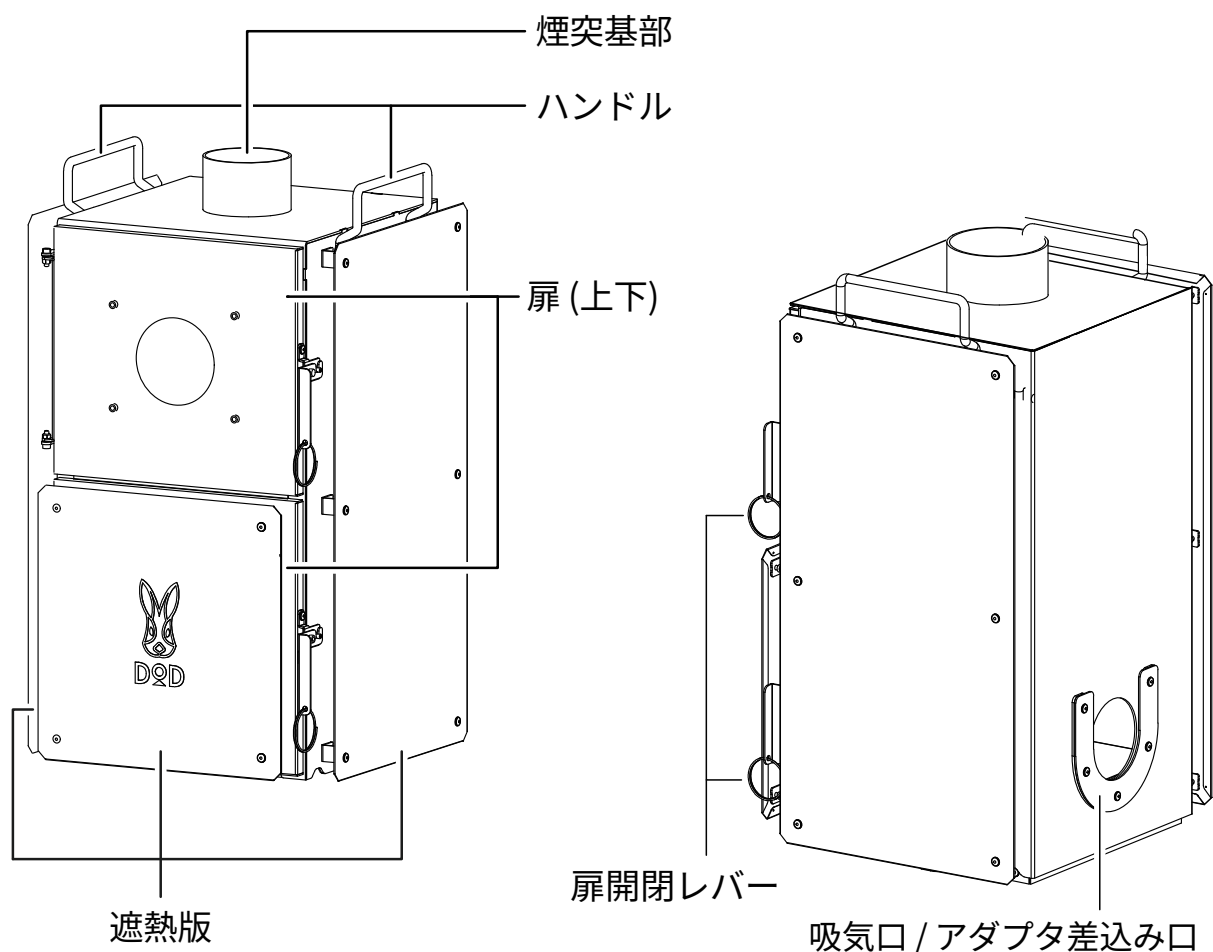


製品仕様（ストーブ）

材質 ストーブ本体： スチール、ステンレス鋼
折りたたみ脚部、ロストル、灰受け：スチール
ストーン用バスケット、煙突、ダクト用アダプタ： ステンレス鋼
吸気ダクト： アルミ合金

原産国 中国

各部の名称



注意

初めてストーブを使用される際は、30分～1時間程度の時間を掛けストーブのテスト燃焼をおこない、塗装剤を焼き切ってください。ストーブの塗装剤を焼き切るまでは、煙と匂いが多く発生するため、テスト燃焼は必ずテントの外でおこなってください。

テントサウナの設営方法



すべてのロープをペグで固定してください。



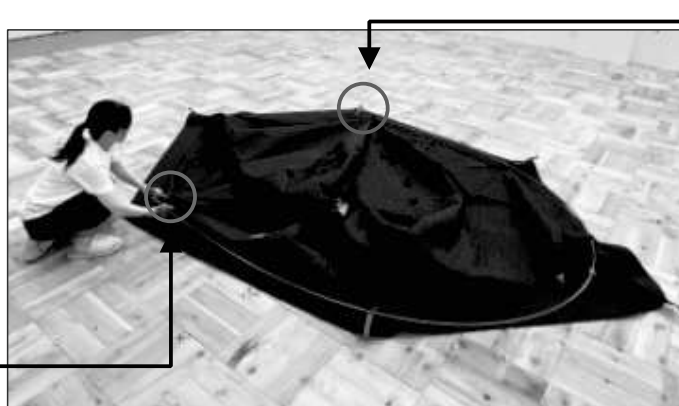
設営・撤収方法は製品ページ上でも詳しく見ることができます。

① テント生地を広げます。

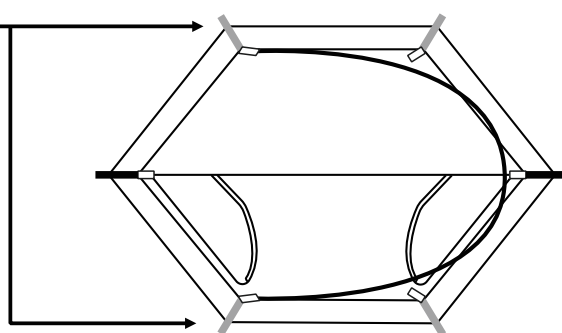


② ポール（グレー）を取り付けます。

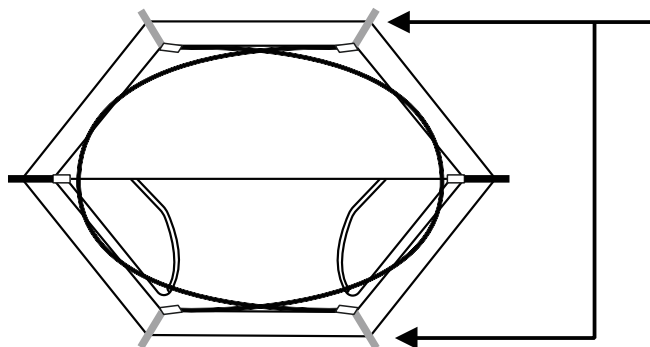
グレー色のポールを2本組み立て、グレー色のペググループの上にあるポケットに差し込みます。



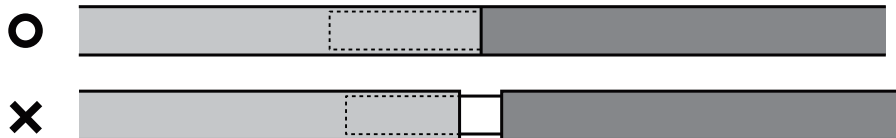
グレー色のペググループ



- ③ もう一方のポケットにグレー色ポールを取り付けます。
図のように2本のポールが交差するようにしてください。



- ・ポールは奥まで差し込んでください。差し込みが不十分だと破損の原因となります。

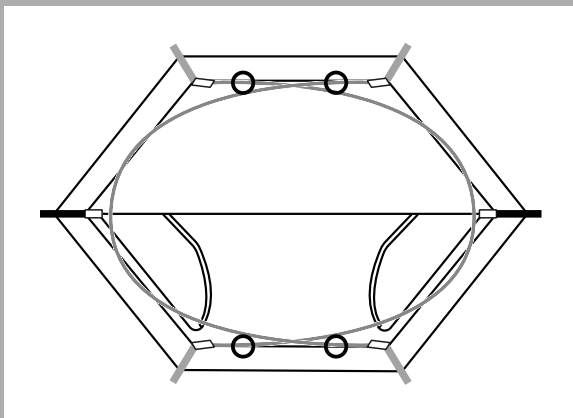


※クリップパーツが固定されている場所のみ奥まで差し込めませんが仕様です。

- ・ポールはポケットの奥までしっかりと差し込んでください。設営中にポールがポケットから飛び出すと、その反動で怪我をする可能性があります。



- ・設営中にポールがポケットから飛び出さないよう、一番下のフックを固定しておくと安全です。



注意

④ ポール（黒）を取り付けます。

黒色のポールを組み立て、黒色のペググループの上にあるポケットに差し込みます。③で差し込んだグレー色ポールよりも外側で差し込むようにしてください。



← グレー色ポール（内側）

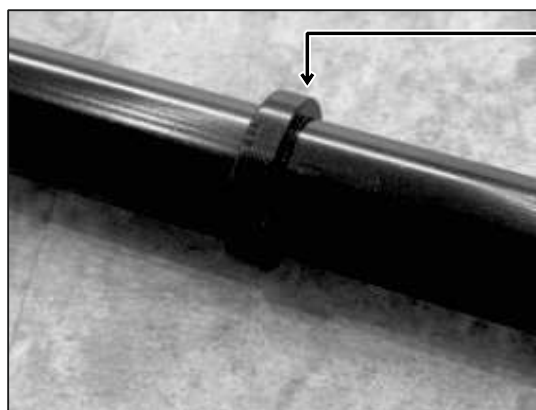
← 黒色ポール（外側）

※グレー色ポールの外側になるように固定

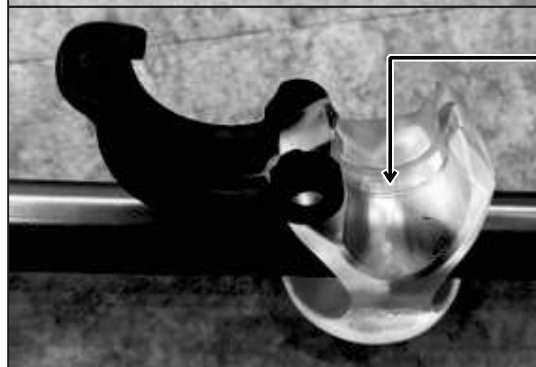
⑤ 3本のポールを固定します。

3本のポールを持ち上げ、黒色ポールのリングとグレー色ポールのクリップ部分を合わせてクリップで固定します。

※クリップパーツ上の溝にリングをはめてから固定してください



リング
※黒色ポール



クリップパーツ上の溝
※グレー色ポール



溝にリングを合わせる

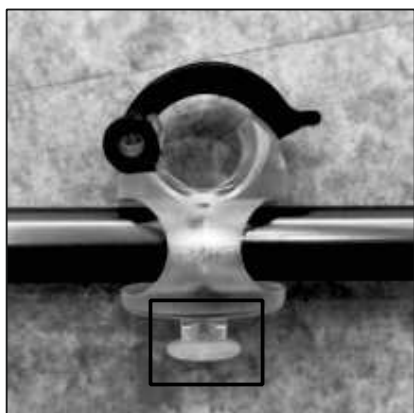


カチッとなるまで固定

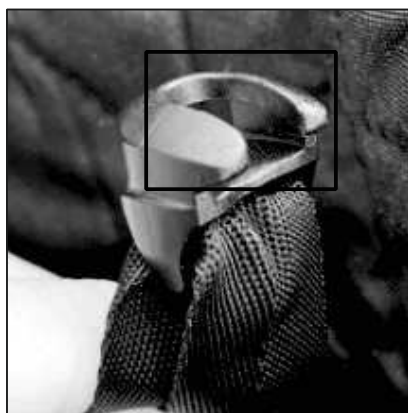
- ⑥ ポールにテント生地を固定していきます。
 テント生地のドアを開けて内側に入り込み、クリップパーツ用のフック（テント生地側）を2ヶ所引っかけます。



クリップパーツ上の突起にフックを引っ掛けます。



クリップパーツ上の突起部

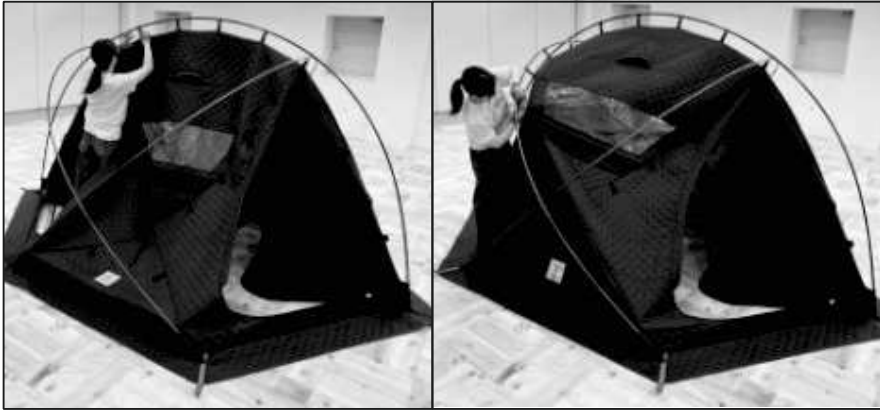


クリップパーツ用フック
 ※テント生地上のパーツ



固定した状態

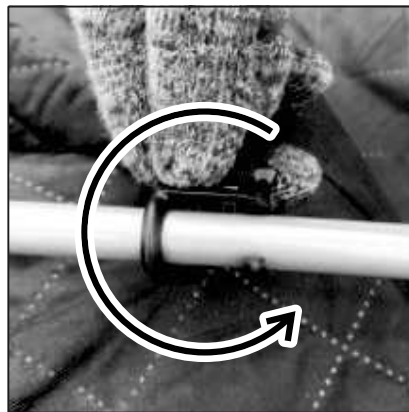
- ⑦ テント生地のパックをすべて引っかけます。



POINT | フックの固定方法

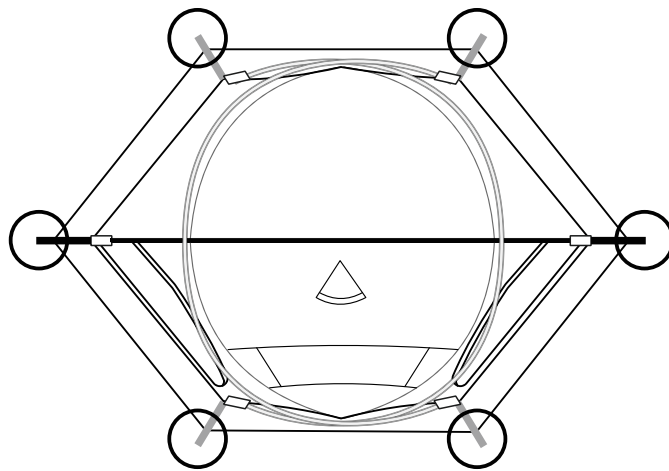


ポールに差し込みます

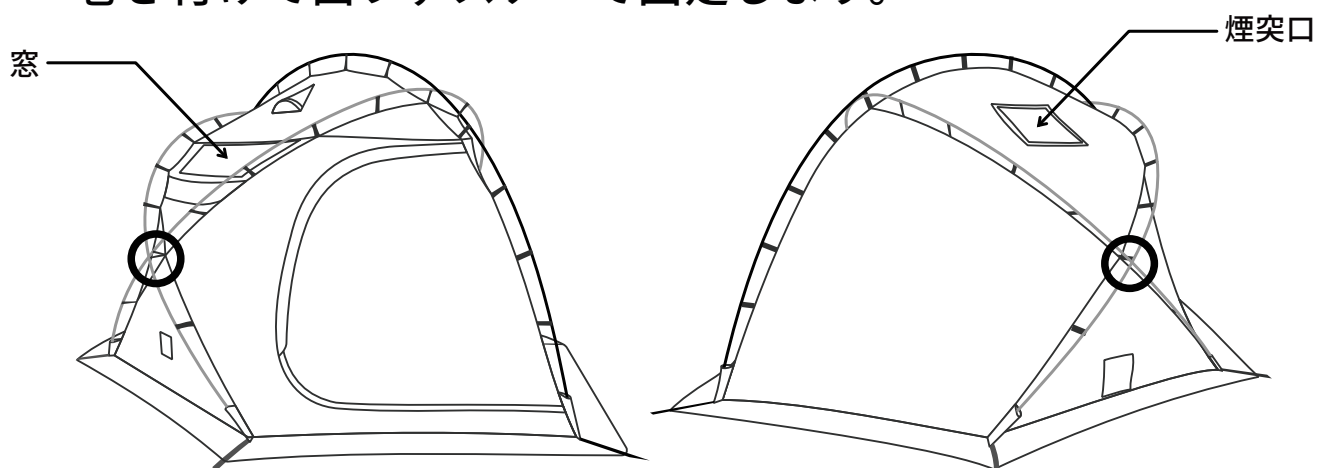


90度ひねって固定します

- ⑧ ポールが均等に地面に設置するようにポール位置を調整し、6ヶ所のペグループをペグで固定します。



- ⑨ 窓と煙突口の下にあるループ生地2ヶ所をポールの交差点に巻き付けて面ファスナーで固定します。



POINT | フレームが交差する部分の固定方法



長い方のベルトをポールの下から通します

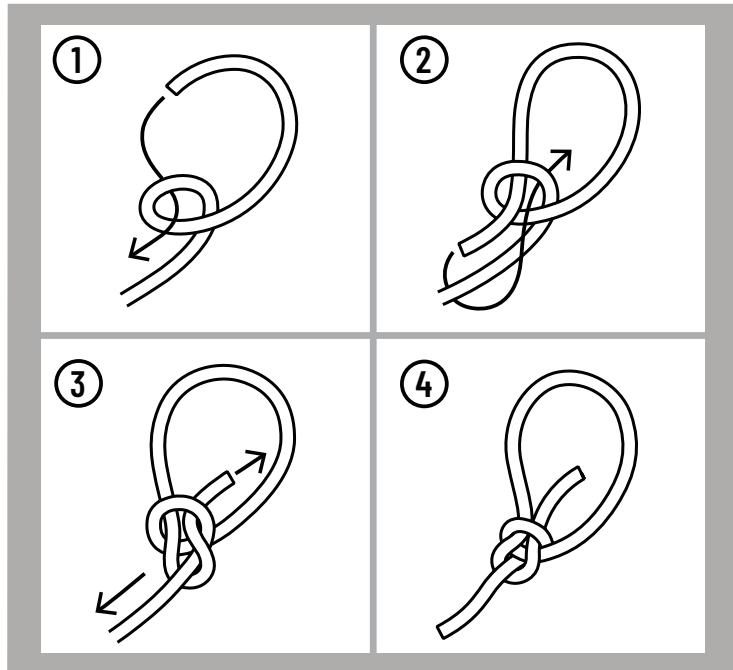


リングに通して折り返し、面ファスナーで固定します。

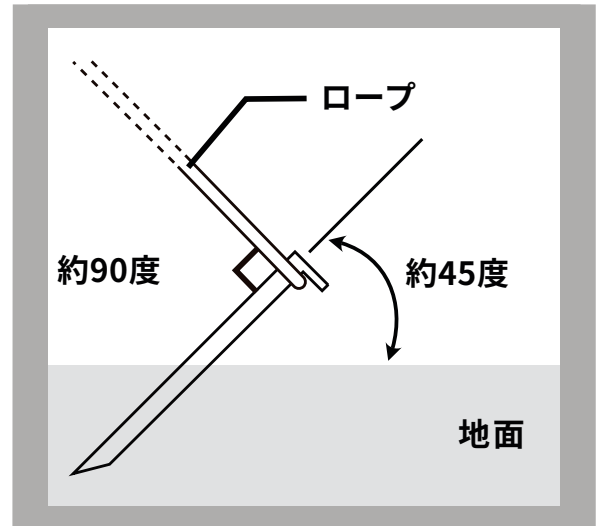
- ⑩ 9のループ部分にロープを結び、ロープを地面にペグダウンします。



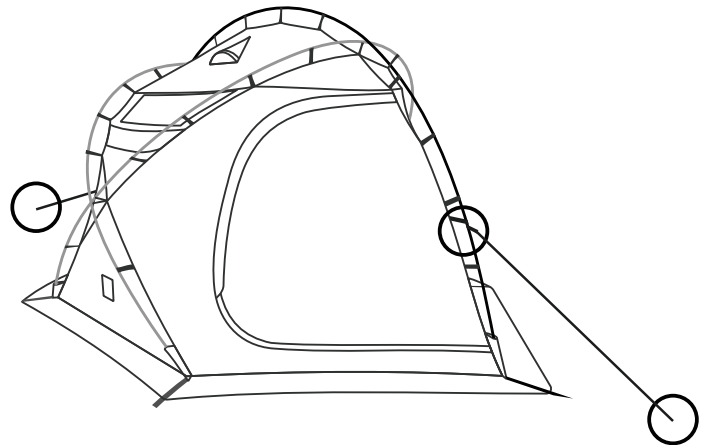
POINT | ロープの結び方 (もやい結び)



POINT | ペグの打ち方



- ⑪ 黒色ポール沿いにあるループ生地 2 ヶ所も黒色ポールに巻き付けて、ロープを結び、地面にペグダウンします。



注意

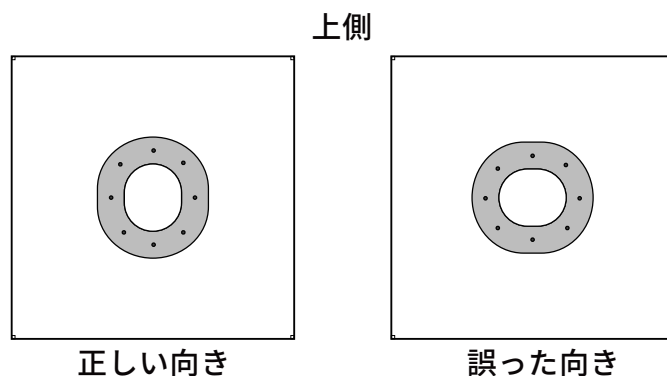
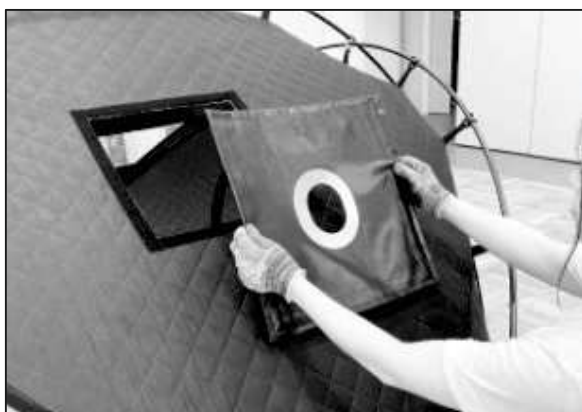
スカート部分を持ってテントを動かしたり、強く引いたりしないでください。



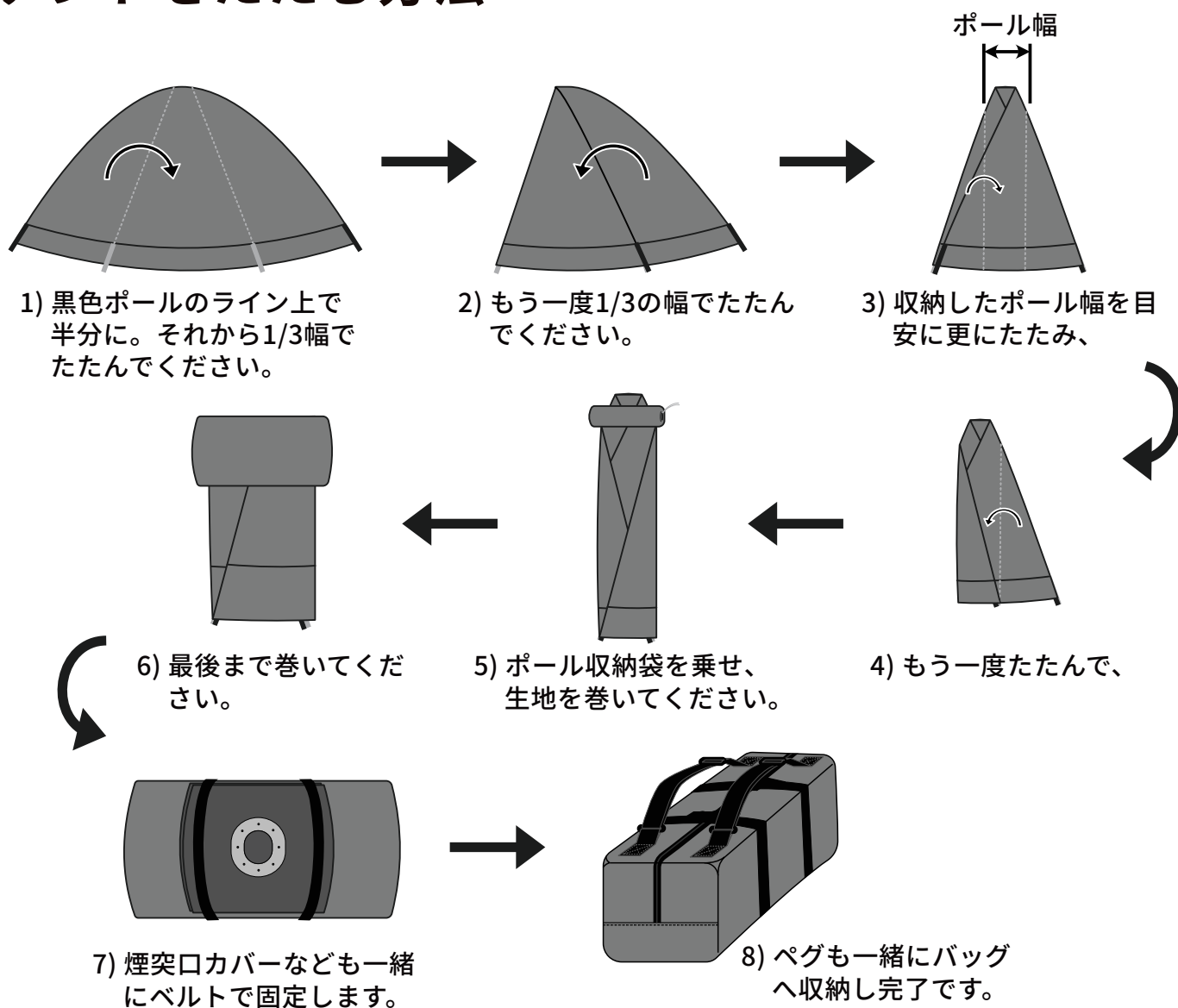
スカート部分を強く引っ張ると、付け根から破損する可能性があります。取り扱いにご注意ください。

⑫ 煙突口に煙突用生地を取り付けて完成です。

※サウナ使用しない場合は、穴のない生地を取り付けてください。



テントをたたむ方法



ストーブの設営方法



必ず2人以上で
設営を行って
ください。



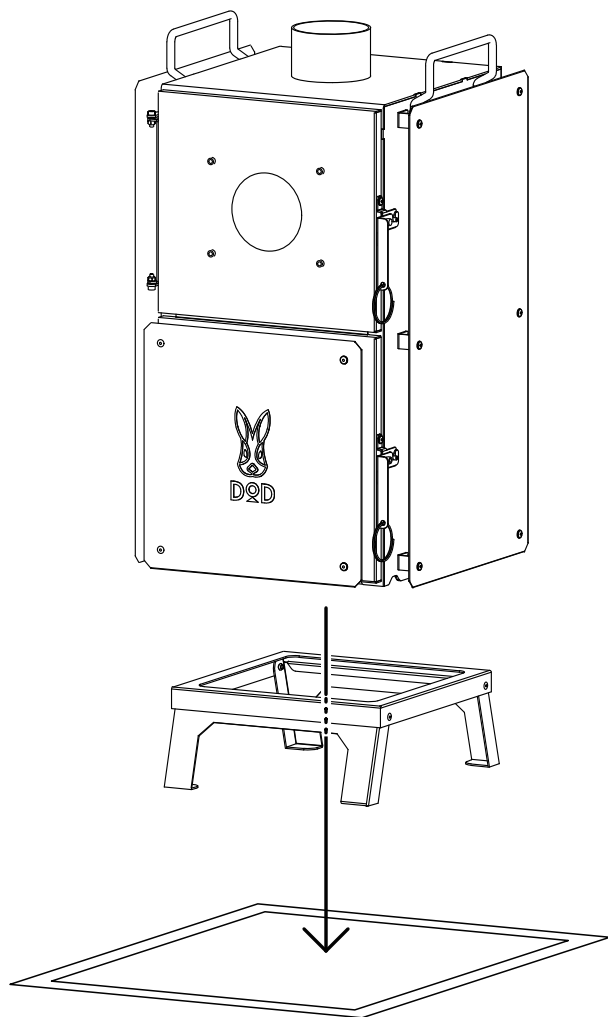
すべてのロープを
ペグで固定
してください。



設営・撤収方法は
製品ページ上でも
詳しく見るができます。

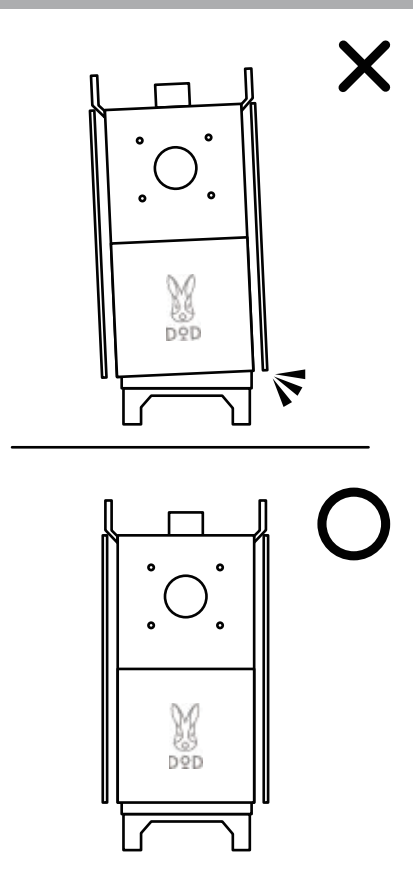


- ① テントサウナを設置します。
- ② テントの煙突穴の真下に耐火シートを敷きます。
折りたたみ脚部を展開し、ストーブ本体を設置します。

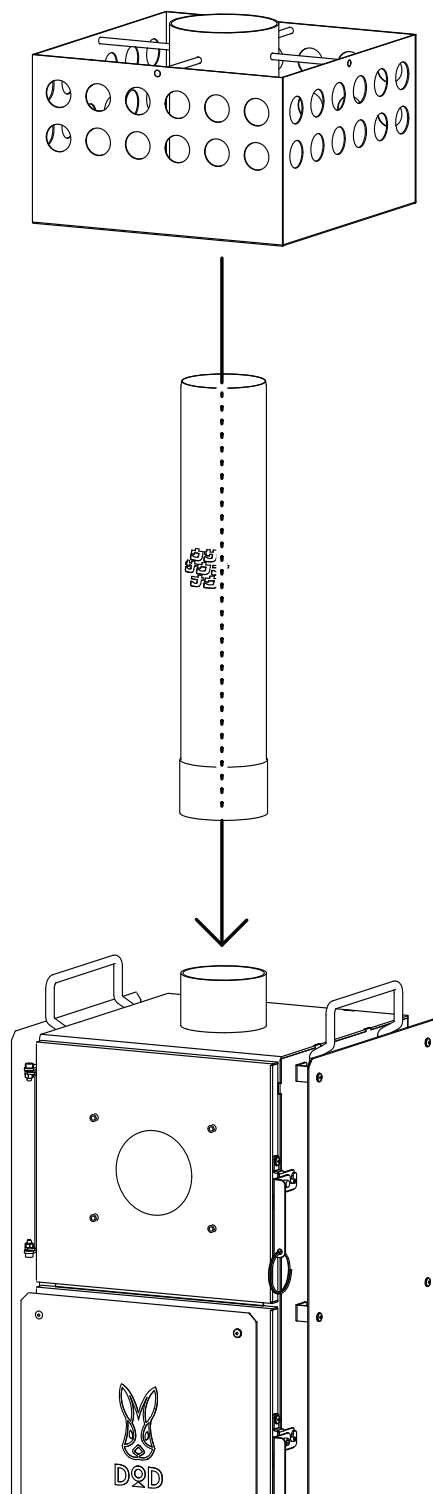


注意

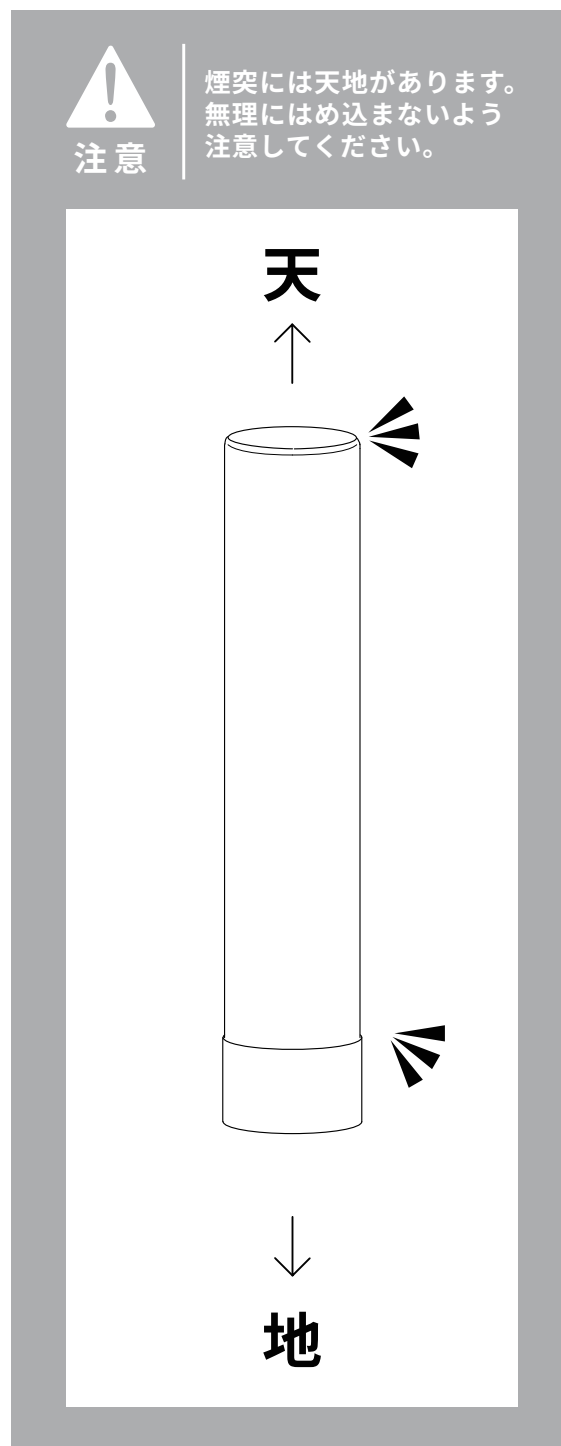
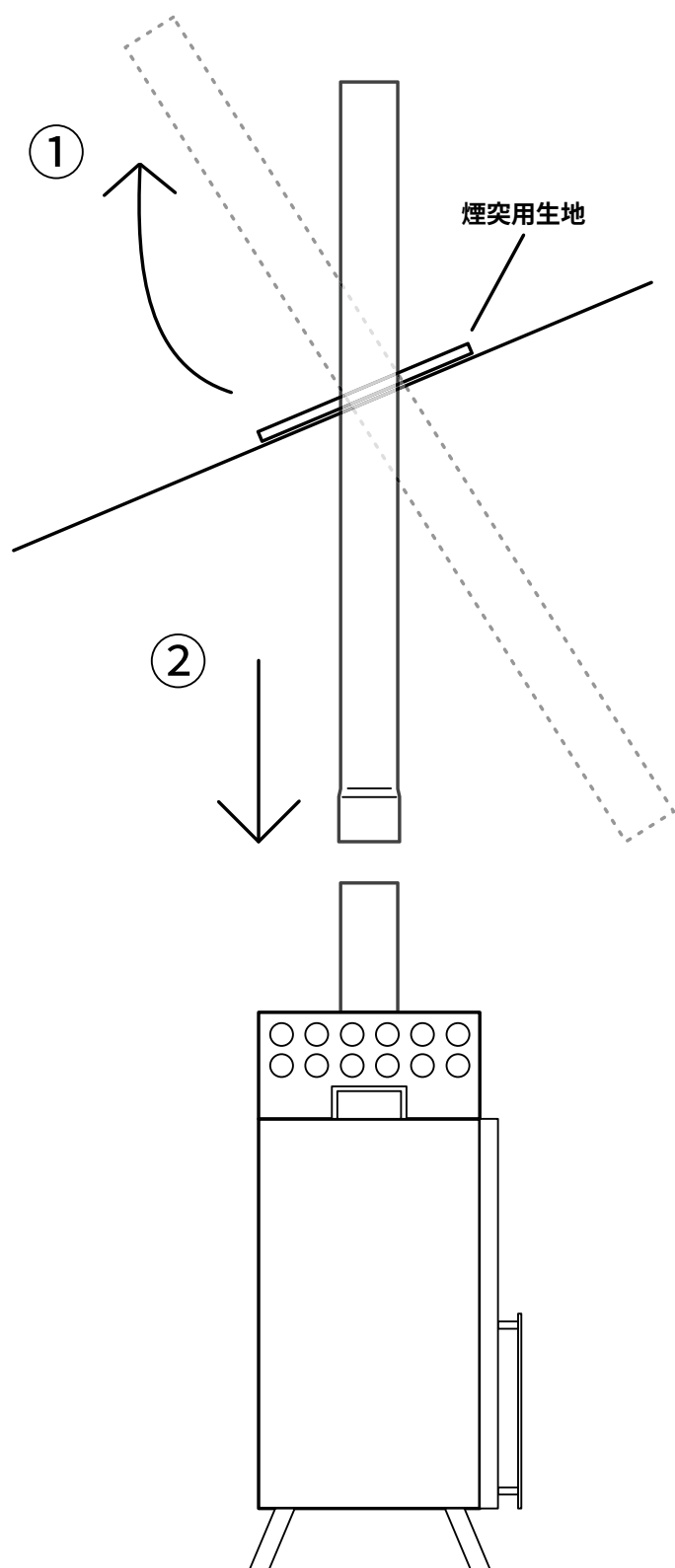
ストーブ本体が傾かない
ように注意してください。



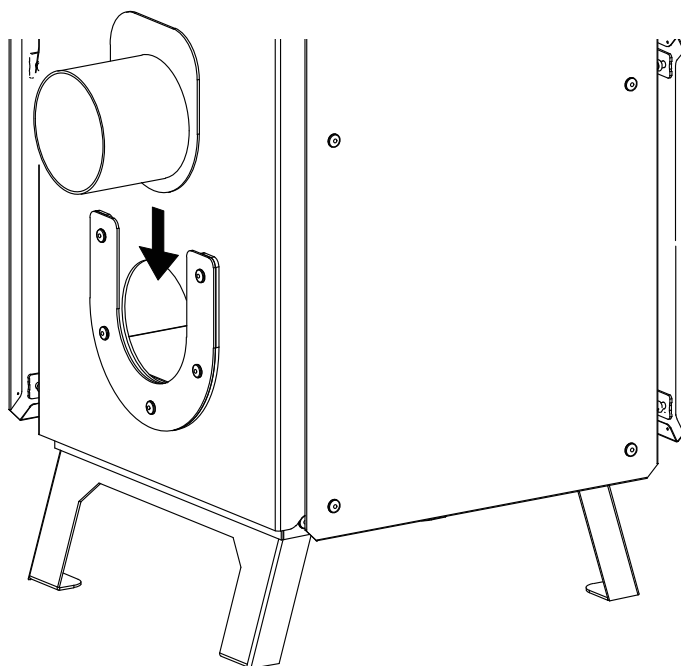
- ③ ストープ本体の煙突基部に煙突（根本）を差し込みます。
さらにその上からストーン用バスケットを設置します。



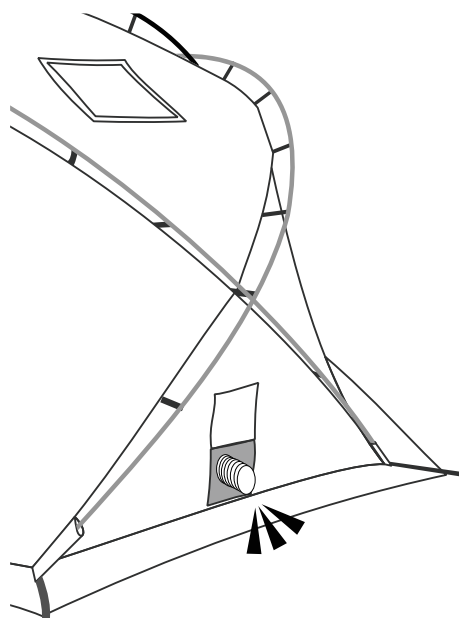
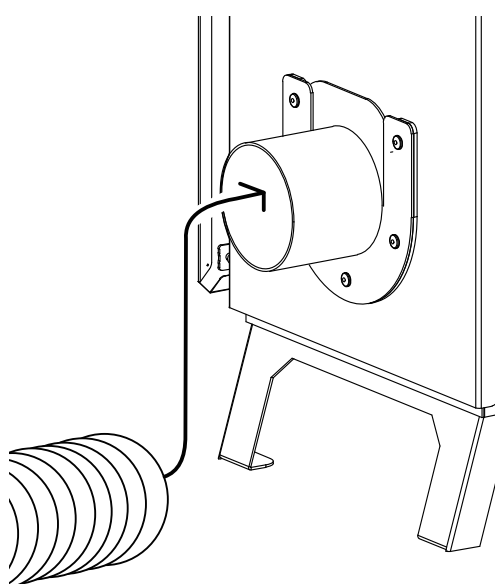
- ④ 煙突（中継ぎ）を組み上げ、テント側の煙突穴に通します。
その後、煙突（根本）に接続してください。
* ストーブまたは煙突が傾く場合はストーブ位置を調整してください。



- ⑤ ダクト用アダプタを、ストーブ本体の背面側にあるアダプタ差込み口に差し込みます。



- ⑥ 吸気ダクトをアダプタの根本までしっかりとかぶせます。
テントサウナのストーブ用吸気口を開けて、接続した吸気ダクトの逆側を外へ出します。



注意

- ・吸気ダクトへの通気が妨げられるような場所にテントを設営しないようにしてください。
- ・変形などにより吸気ダクトからの通気が十分行えない場合は、必ず吸気ダクトを交換してください。

撤収方法

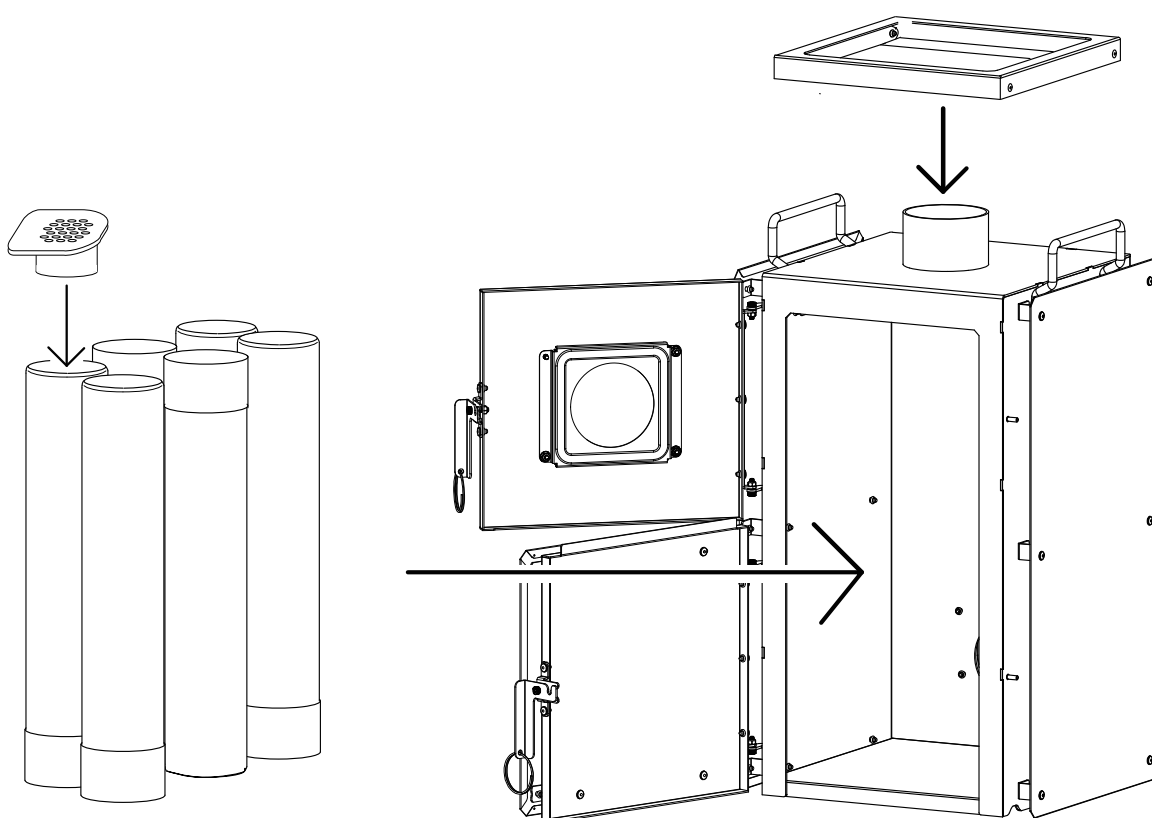
- ① 製品が完全に鎮火していること、十分に冷めていることを確認してから煙突を分解し、ダクトやバスケットを外します。



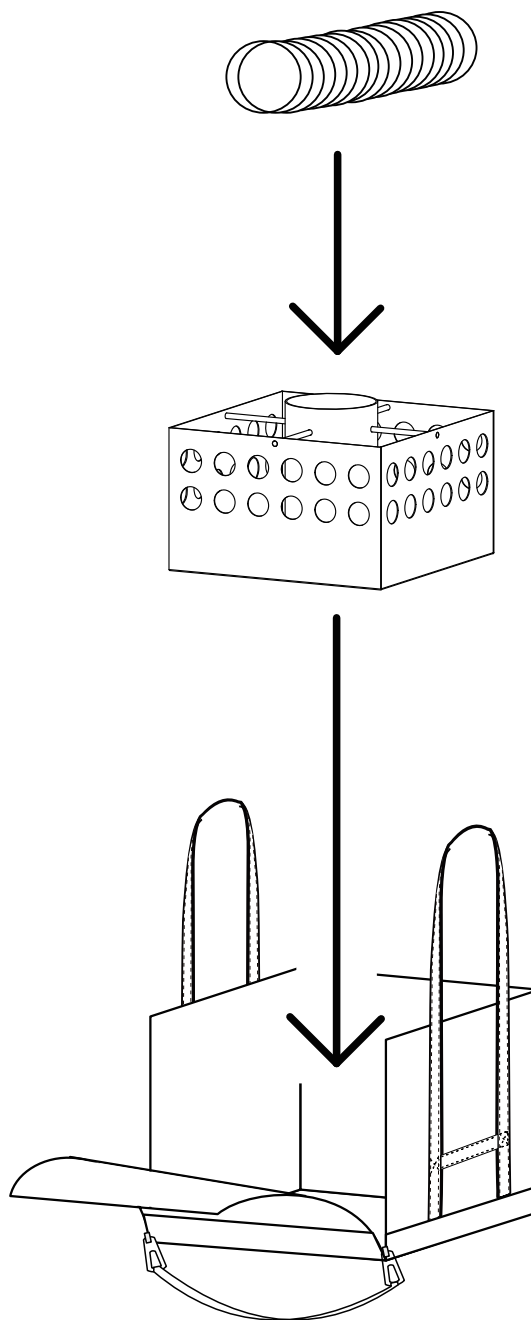
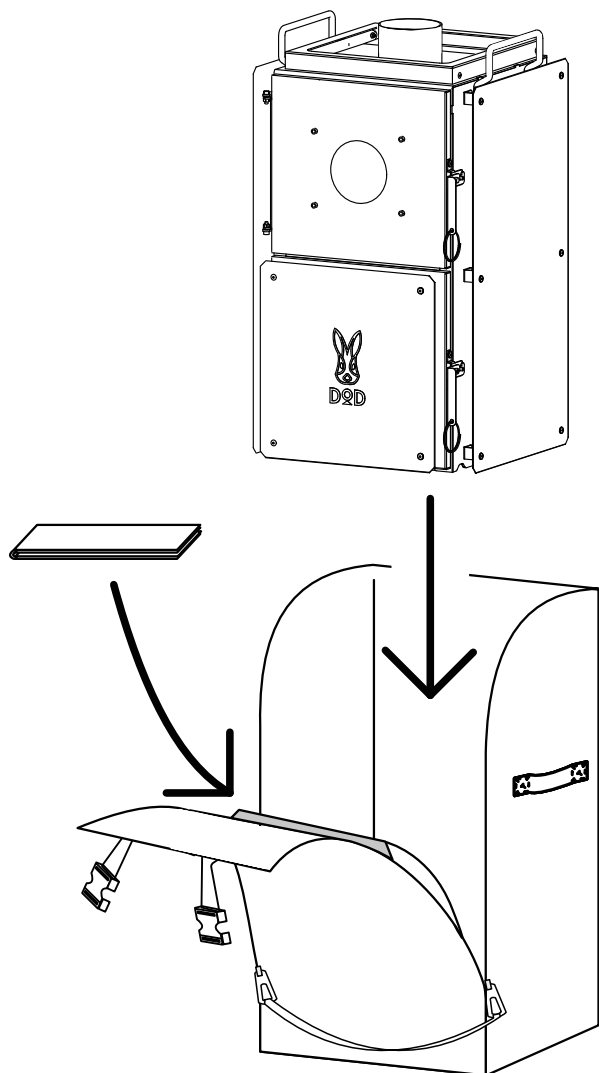
注意

- ・ ストープ内の灰の処理や清掃を行う際には、必ずテントのドアを両側開けてから行ってください。燃烧による一酸化炭素がテントに流出するおそれがあります。
- ・ ストープから取り除いた炭や灰が再び燃え出さないよう、適切に処分してください。火の不始末によって大きな火災を引き起こす可能性があります危険です。

- ② ダクト用アダプタをかぶせた煙突をストーブ内に収納し、折り畳み脚部は折りたたんでストーブ本体上部へ載せます。

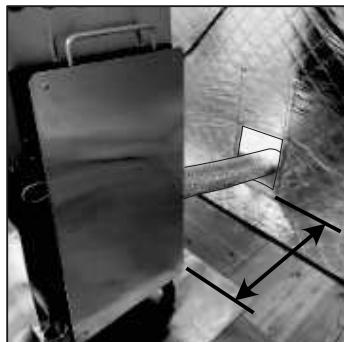


- ③ ストープ本体、耐火シート、吸気ダクトおよびバスケットを
キャリーバッグに入れてください。





ストーブ使用前のチェックリスト



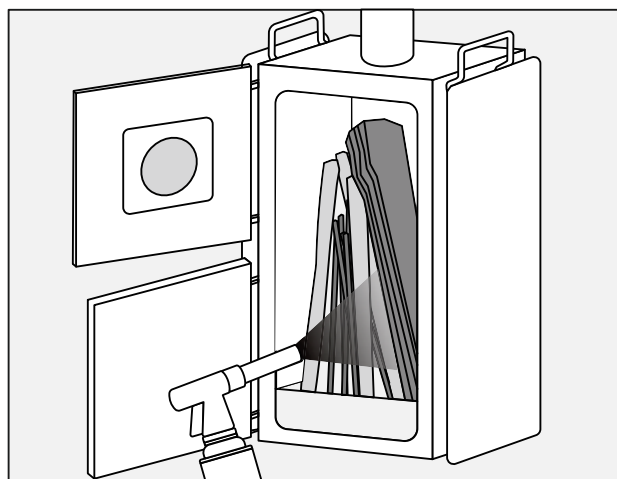
- ☐ ストーブが煙突口の真下に配置され、テント生地との間に十分な間隔（50cm）がありますか。
- ☐ ストーブ本体に煙突がしっかりと固定されていますか。
- ☐ 煙突同士がしっかりとつなぐれ、煙がテントの外へ排出される状態になっていますか。
- ☐ ストーブと吸気ダクトがしっかりと固定され、テント外からの吸気が行えていますか。
- ☐ ストーブの脚部が最後まで展開され、平らな場所に安定した状態で設置されていますか。
- ☐ ストーブの脚部にストーブが正しく安定した状態で乗せられていますか。
- ☐ 煙突の出口から3m以内に燃える物がないことを確認しましたか。
- ☐ テントのベンチレーターが閉じられず、通気が行えていますか。
- ☐ COチェッカーをお手元にご用意いただけてますか。
- ☐ 正しい燃料（よく乾燥した広葉樹の薪や、当社指定の燃料）が準備されていますか。
- ☐ テントが揺れるような風（風速5m以上）が吹いていませんか。
- ☐ 煙突の内部を掃除し、詰まっていない状態ですか。
- ☐ 万が一に備えて、水を張ったバケツなどの消火準備ができていますか。
- ☐ ストーブの近くに燃えやすいもの（衣類・燃料など）が置かれていませんか。

火入れの手順



- ① テント・ストーブを取扱説明書に記載の通り正しく設営し、テントのドア2ヶ所を完全に開けてください。

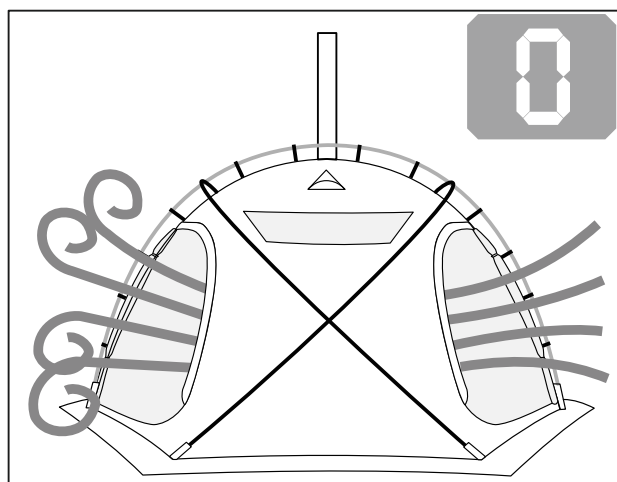
※初回使用の場合は12ページに記載のテスト燃焼を必ず実施しておいてください。



- ② ストーブのドアを全て開け、焚きつけ用の細い薪をストーブ奥面に立てかけるように置き、被せるように太めの薪を置きます。

- ③ バーナーなどを使って焚き付けに火をつけます。

- ④ 太めの薪が燃えるようになったら、ストーブ内に薪を追加し、ストーブのドアを全て閉めてください。



- ⑤ COチェッカーでテント内の一酸化炭素濃度を測定し、0であることを確認してからテントのドアを全て閉めてください。

- ⑥ 一酸化炭素が測定された場合は、テントのドアやうちわなどであおいで換気してください。

- ⑦ 定期的に燃焼状況をチェックし、薪を追加してください。

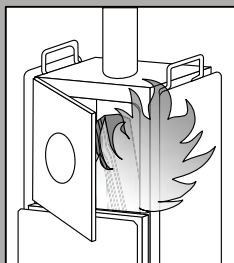
⑧30分～1時間程度燃焼させ、テント内が適温になったら入浴を行ってください。

※適温になるまでの時間は薪の質や気温により異なります。

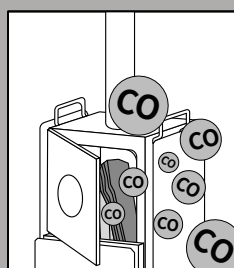
⑨定期的に一酸化炭素濃度を測定し、一酸化炭素が測定された場合は換気を行ってください。



注意



ガラス窓の高さまで大きく炎が燃えているときには薪の追加投入をしないでください。ドアを開けたときに炎が出てくる恐れがあります。



薪の追加投入は速やかに行い、投入後は直ちにドアを閉めてください。長時間ストーブのドアを開けておくと、一酸化炭素がテント内に流出する危険性があります。

収納・保管方法

使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。

濡れたまま保管すると、色移りやカビ、腐食、劣化の原因となります。特に長期間使用せず保管する際は、乾燥後でも湿気がこもる可能性があるため、定期的に広げて風に当てたり、乾燥剤を用いるなどして、なるべく湿気が多くならない状態で保管ください。汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。※シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色の原因となるので、使用しないでください。

**高温多湿を避け、直射日光の当たらない
風通しのよい場所に保管してください。**

保管方法を誤ってしまうと、色移りやカビ、腐食、劣化の原因となります。

廃棄の際は、各地方団体の指示に従って廃棄してください。

快適にご使用いただくためのQ&A

Q テント・タープを使用後、
保管方法はどのようにすればよいですか。

A 使用後は汚れを拭き取り、乾燥させて収納してください。
保管の際も高温多湿を避け、直射日光の当たらない
風通しのよい場所にしてください。

濡れたまま保管すると、カビ、腐食、劣化、防水／撥水機能の低下の原因となります。※汚れを拭き取る際、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用はご遠慮ください。色落ちや変色などの原因となります。

Q 部品の購入はどのようにすればよいですか。

A 通常使用による部品の消耗などにつきましては、
下記ページにて交換用部品を販売しております。

※ご要望の部品がない場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。

【補修パーツページ】



https://store.dod.camp/c/item/repair_parts

Q

製品に不具合があります。

A

お客様より寄せられるご質問を、HPの「よくあるご質問」でご紹介しております。解決せず不良が疑われる場合にはwebページより弊社サポートまでご連絡ください。

※テント等の修理についてもHPよりご確認ください。

【FAQ】



<https://www.dod.camp/support/faq/>

製品に関するよくある質問を掲載しております。

【お問い合わせフォーム】



<https://www.be-s.co.jp/contact>

TEL:050-5305-9905（平日10:00～13:00 / 14:00～17:00 土日祝日、盆休、年末年始休）

※サービス向上のため、お電話の内容は全て録音させていただいております。

※出来る限りWEB サイトお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、製品名、製品型番、製造番号、ご購入店名、
ご購入年月日、ご住所、お名前、ご連絡先をお知らせください。

Q

保証書がありません。

A

本製品に保証書の付属はございません。

通常の使用状態にて製品に不具合や破損が見られた場合は、ご購入日また製品到着日より、1年間は無償で対応させていただきます。（ペグやロープなどの消耗品を除く）詳しい保証規定についてはこちらをご参照ください。

<https://www.dod.camp/support/warranty/>

Q

DOD製品の詳細について知りたいです。

A

製品ページでご案内しております。また、新製品やイベント情報、キャンプに関する情報などはSNSでもご案内しております。

【製品ページ】



DODキャンプ

検索



<https://www.dod.camp/>

【販売ページ】



DOD STORE

検索



<https://store.dod.camp/>

【情報配信ツール】

DOD camp+us（DOD公式アプリ「ディーオーディーキャンパス」）

DODを体感しながらみんなで創り上げるコミュニティアプリ。

<https://subscription.app.c-rayon.com/app/dodcampus/home>



X (Twitter)

@dod_camp

https://www.twitter.com/dod_camp/



Facebook

@doppelgangeroutdoor

<https://www.facebook.com/doppelgangeroutdoor>



Instagram

@dod.camp

<https://www.instagram.com/dod.camp/>



Tiktok

@dod_camp

https://www.tiktok.com/@dod_camp



Youtube

@dodcamp

<https://www.youtube.com/DODCAMP/>

DOD JOURNAL

最新情報や商品開発の裏話などを公開しています。

<https://www.dod.camp/journal/>



ビーズ株式会社
be-s Co., Ltd.

〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1丁目14番33号

※当説明書内容の無断転用を禁止します

© 2024 be-s Co., Ltd.

